

I 臨床指標

臨床指標（クリニカル・インディケーター）とは、「医療の質」を測る数値化された基準です。医療サービスの質を客観的に評価し、病院内の課題を見つけ、医療の質と安全性を向上させることを目的とします。

集計期間：2025/4/1~2026/3/31

1. 入院患者数・平均在院日数

(1)4A病棟								
一般急性期			地域包括ケア			計		
25床			25床			50床		
区分	年間計	月平均	区分	年間計	月平均	区分	年間計	月平均
入院	537	44.8	入院	83	6.9	入院	620	51.7
退院	324	27.0	退院	269	22.4	退院	593	49.4
転入	9	0.8	転入	198	16.5	転入	207	17.3
転出	219	18.3	転出	12	1.0	転出	231	19.3
計	9,333	777.8	計	5,809	484.1	計	15,142	1,261.8
平均患者数/日	25.6		平均患者数/日	17.3		平均患者数/日	41.5	
稼働率(%)	79.2		稼働率(%)	89.8		稼働率(%)	83.0	
平均在院日数	18.0		平均在院日数	20.7		平均在院日数	23.8	

(2)4B病棟			(3)3A病棟			(4)=(1)+(2)+(3)		
緩和ケア			介護医療院			合計		
30床			50床			130床		
区分	年間計	月平均	区分	年間計	月平均	区分	年間計	月平均
入院	125	10.4	入院	59	4.9	入院	804	67.0
退院	138	11.5	退院	27	2.3	退院	758	63.2
転入	27	2.3	転入	0	0.0	転入	234	19.5
転出	3	0.3	転出	0	0.0	転出	234	19.5
計	6,103	508.6	計	4,675	389.6	計	25,920	2,160.0
平均患者数/日	16.7		平均患者数/日	19.2		平均患者数/日	71.0	
稼働率(%)	55.7		稼働率(%)	38.5		稼働率(%)	62.7	
平均在院日数	41.9		平均在院日数	108.7		平均在院日数	37.6	

※(5)=(1)+(2)		
病院のみ(介護医療院を除く)		
80床		
区分	年間計	月平均
入院	745	62.1
退院	731	60.9
転入	234	19.5
転出	234	19.5
計	21,245	1,770.4
平均患者数/日	58.2	
稼働率(%)	72.8	
平均在院日数	30.1	

※2025年度 病床数変更の推移

病棟・種別		7/31迄	8/1以降	9/1以降	12/1以降
4A	一般病棟	40	40	29	25
	地域包括ケア病棟	10	10	21	25
	計	50	50	50	50
4B	緩和ケア病棟	30	30	30	30
病院計		80	80	80	80
3A	介護医療院	0	50	50	50
合計		80	130	130	130

2. 予定外再入院率

※退院後30日以内の予定外再入院の割合

A. 再入院者数	34
B. 年間入院患者数	804
C. 予定外再入院率=A÷B(%)	4.2

3. 在宅復帰率

A. 在宅復帰数 (居宅介護施設・介護医療院含む)	493
B. 退院数 (死亡退院・他病院への転院は含まず)	518
C. 在宅復帰率=A÷B(%)	95.2

4. 認知症ケア加算対象患者割合

※4A病棟(一般急性期25床/地域包括ケア25床 計50床)で算定

A. 認知症ケア加算2 年間算定回数	6,622
B. 年間延べ入院患者数	15,400
C. 認知症ケア加算対象患者割合=A÷B(%)	43.0

5. 身体抑制率

A. 身体拘束を実施した患者延べ数	146
B. 年間延べ入院患者数	15,400
C. 身体抑制率=A÷B(%)	0.9

6. 褥瘡発生率

※当院では、分子は『患者数』ではなく『褥瘡数』でカウントしています

A. d 2以上の褥瘡発生患者数(延べ褥瘡数)	44
B. 年間延べ入院患者数	15,400
C. 褥瘡発生率=A÷B(%)	0.3

7. 褥瘡対策チームの介入率

次年度より開示

A. 褥瘡対策チームの介入件数	
B.	
C. 介入率=A÷B(%)	

8. 65歳以上の患者の入院早期の栄養
アセスメント実施割合

A. 48時間以内に栄養アセスメントが 実施された患者数	492
B. 65歳以上の退院患者数	708
C. 65歳以上の患者の入院早期の 栄養アセスメント実施割合=A÷B(%)	69.5

10.医療相談受付件数
次年度より開示

A.	
B.	
C.	

9. 栄養サポートチームの介入率

A. 栄養サポートチームの介入件数	1
B. 年間延べ入院患者数	15,400
C. 介入率=A÷B(%)	0.01

11. 多職種カンファレンス実施件数
次年度より開示

A.	
B.	
C.	

12. 外来患者数 / 診療科別

診療科	区分	年間計	月平均	平均患者数/日	
				所定日数	コマ日数
内科(一般) 毎週 月～金AM	初診	1,468	122.3	6.0	6.0
	新患	229	19.1	0.9	0.9
	再診	10,350	862.5	42.4	42.4
	計	11,818	984.8	48.4	48.4
代謝・内分泌 毎週 火AM	初診	15	1.3	0.1	0.3
	新患	0	0.0	0.0	0.0
	再診	1,150	95.8	4.7	24.0
	計	1,165	97.1	4.8	24.3
循環器科 毎週 木AM	初診	23	1.9	0.1	0.5
	新患	1	0.1	0.0	0.0
	再診	139	11.6	0.6	2.8
	計	162	13.5	0.7	3.2
腎内科 第2・4 月AM	初診	1	0.1	0.0	0.0
	新患	0	0.0	0.0	0.0
	再診	235	19.6	1.0	9.8
	計	236	19.7	1.0	9.8
血液内科 毎週 木AM	初診	13	1.1	0.1	0.3
	新患	0	0.0	0.0	0.0
	再診	773	64.4	3.2	15.2
	計	786	65.5	3.2	15.4
膠原病内科 第1 月AM 第3 月AM 第3 火AM	初診	21	1.8	0.1	0.9
	新患	0	0.0	0.0	0.0
	再診	955	79.6	3.9	39.8
	計	976	81.3	4.0	40.7
平成園 毎週 水AM I 毎週 水PM III 毎週 木PM II	初診	47	3.9	0.2	0.3
	新患	13	1.1	0.1	0.1
	再診	3,429	285.8	14.1	23.8
	計	3,476	289.7	14.2	24.1
内科計	初診	1,588	132.3	6.5	
	新患	243	20.3	1.0	
	再診	17,031	1,419.3	69.8	
	計	18,619	1,551.6	76.3	
神経内科 毎週 金AM	初診	44	3.7	0.2	0.9
	新患	0	0.0	0.0	0.0
	再診	597	49.8	2.4	12.4
	計	641	53.4	2.6	13.4
もの忘れ 第2・4 月AM	初診	21	1.8	0.1	1.0
	新患	0	0.0	0.0	0.0
	再診	126	10.5	0.5	6.0
	計	147	12.3	0.6	7.0
神経内科計	初診	65	5.4	0.3	
	新患	0	0.0	0.0	
	再診	723	60.3	3.0	
	計	788	65.7	3.2	

診療科	区分	年間計	月平均	平均患者数/日	
				所定日数	コマ日数
緩和ケア内科 毎週 火PM	初診	3	0.3	0.0	0.1
	新患	0	0.0	0.0	0.0
	再診	49	4.1	0.2	1.0
	計	52	4.3	0.2	1.0
心臓血管外科 第2・4 水PM	初診	31	2.6	0.1	1.3
	新患	1	0.1	0.0	0.0
	再診	142	11.8	0.6	5.9
	計	173	14.4	0.7	7.2
整形外科 毎週 月木AM金AM-PM 第1・2・4 水AM(県央)	初診	228	19.0	0.9	1.6
	新患	10	0.8	0.0	0.1
	再診	3,646	303.8	14.9	25.1
	計	3,874	322.8	15.9	26.7
泌尿器科 毎週 月AM(新大) 毎週 水木PM(新大)	初診	148	12.3	0.6	3.0
	新患	4	0.3	0.0	0.1
	再診	990	82.5	4.1	19.8
	計	1,138	94.8	4.7	22.8
婦人科 毎週 火・水・木・金AM	初診	348	29.0	1.4	1.7
	新患	32	2.7	0.1	0.2
	再診	1,172	97.7	4.8	5.9
	計	1,520	126.7	6.2	7.6
眼科 毎週 月・火AM	初診	156	13.0	0.6	1.7
	新患	5	0.4	0.0	0.1
	再診	2,258	188.2	9.3	24.5
	計	2,414	201.2	9.9	26.2
耳鼻咽喉科 毎週 水PM	初診	221	18.4	0.9	4.5
	新患	7	0.6	0.0	0.1
	再診	555	46.3	2.3	11.3
	計	776	64.7	3.2	15.8
リハビリ科 毎週 月PM・金AM	初診	26	2.2	0.1	0.3
	新患	0	0.0	0.0	0.0
	再診	447	37.3	1.8	5.0
	計	473	39.4	1.9	5.3
皮膚科 毎週 月PM	初診	202	16.8	0.8	5.3
	新患	4	0.3	0.0	0.1
	再診	506	42.2	2.1	13.3
	計	708	59.0	2.9	18.6
精神科 毎週 火AM	初診	48	4.0	0.2	1.0
	新患	0	0.0	0.0	0.0
	再診	349	29.1	1.4	7.0
	計	397	33.1	1.6	7.9
合計	初診	3,064	255.3	12.6	
	新患	306	25.5	1.3	
	再診	27,868	2,322.3	114.2	
	計	30,932	2,577.7	126.8	

13. 救急受入れ件数と救急搬送後の入院率

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
A.救急車受入件数	21	12	26	22	27	23	21	29	22	14	14	15	246	20.5
B.うち直入院数	16	8	15	8	17	12	15	15	12	10	8	8	144	12
C.救急搬送後の入院率=B÷A(%)	76.2	66.7	57.7	36.4	63.0	52.2	71.4	51.7	54.5	71.4	57.1	53.3	58.5	58.5

14. 紹介・逆紹介割合

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A.初診料算定件数	186	229	240	276	256	272	243	218	237	161	155	215	2,688
B.内 休日夜間救急患者件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
C.内 時間内救急車搬送患者数	7	7	15	16	18	11	10	14	11	8	8	7	132
D.紹介患者件数	57	88	76	81	68	70	83	59	78	49	54	63	826
E.内 時間外救急又は車搬送患者数	2	0	4	1	1	4	3	4	1	2	3	1	26
F.逆紹介件数	91	78	83	77	100	89	77	60	64	69	61	67	916
G.紹介率 (%)	30.7	39.8	32.0	30.8	28.2	25.3	34.3	27.0	34.1	30.7	34.7	29.8	31.3
H.逆紹介率 (%)	50.8	35.3	36.9	29.6	42.0	34.1	33.0	29.4	28.3	45.1	41.5	32.2	35.9

注1 この調査票は地域医療支援病院の算定式により算出している。
注2 診療情報提供料(I)の算定件数を近似的に逆紹介件数(F)と扱うため、Fには病院・診療所以外の施設への紹介件数を含む(例:老健施設)。
注3 紹介率G=(D-E)/(A-B-C)×100(小数点第2位切り捨て、小数点第1位まで表示)
注4 逆紹介率H=F/(A-B-C)×100(小数点第2位切り捨て、小数点第1位まで表示)
注5 合計の紹介率、逆紹介率はAからFの合計値により算出している。

15. 患者満足度

※総合メディカル㈱委託 患者様アンケート調査による

外来 5点満点の総合評価／119名回答	3.99
入院 5点満点の総合評価／27名回答	4.18

16-1. インシデント・アクシデント報告件数

	インシデントレベル					アクシデントレベル				合計	構成比 (%)
	0	1	2	3	計	3b	4b	5b	計		
転倒・転落	1	97	12	7	117	0	0	0	0	117	37.5
薬物	8	50	5	0	63	0	0	0	0	63	20.2
チューブ管理	0	39	4	9	52	0	0	0	0	52	16.7
検査	4	19	1	2	26	0	0	0	0	26	8.3
食事	2	9	0	0	11	0	0	0	0	11	3.5
事務関連	3	7	0	0	10	0	0	0	0	10	3.2
医療機器	0	5	0	0	5	0	0	0	0	5	1.6
処置	1	1	0	0	2	1	0	0	1	3	1.0
診察	0	3	0	0	3	0	0	0	0	3	1.0
治療	0	2	0	0	2	0	0	0	0	2	0.6
暴力	0	1	1	0	2	0	0	0	0	2	0.6
所在不明	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0.3
その他	1	12	0	4	17	0	0	0	0	17	5.4
計	20	246	23	22	311	1	0	0	1	312	100.0

16-2.全報告中医師による報告の占める割合

A. 医師の報告数	1
B. 全報告数	312
C. 医師による報告割合 =A÷B(%)	0.3

16-3. 転倒・転落発生率

A. 退院患者に発生した転倒・転落件数	117
B. 入院患者延べ患者数	15,400
C. 転倒・転落発生率=A÷B(%)	0.8

16-4. 転倒転落によるインシデント影響度
分類レベル3 b 以上の発生率

A. 3 b 以上の転倒転落の発生件数	0
B. 入院患者延べ患者数	15,400
C. 転倒転落によるインシデント影響度 分類レベル3 b 以上の発生率=A÷B(%)	0.0

17.放射線検査の実施件数

※X線撮影は一般撮影とポータブルX線撮影の合計

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
X線撮影	453	526	437	648	603	536	552	499	506	498	378	491	6,127	510.6
CT	186	221	191	218	220	243	229	187	238	158	170	224	2,485	207.1
MRI	30	34	25	30	28	20	35	15	41	23	27	14	322	26.8
TV	2	6	7	3	5	4	5	2	5	7	5	3	54	4.5
骨塩定量検査	77	60	55	38	54	67	137	62	57	40	50	76	773	64.4
計	748	847	715	937	910	870	958	765	847	726	630	808	9,761	813.4

18-1. ワクチン接種件数

種別	区分	件数
インフルエンザ	一般患者	663
	職員	125
	計	788
COVID-19	一般患者	442
	職員	5
	計	447
带状疱疹		255
肺炎球菌		22
B型肝炎		22
オタフクかぜ		4
麻しん・風しん		4
破傷風		3
合計		1,545

18-2. 職員におけるインフルエンザ予防接種率

A. 接種人数	125
B. 職員数	154
C. インフルエンザ予防接種率=A÷B(%)	81.2

19. 健診センター受診実績

種別	2025	2024	前年対比	
			差異	増減率(%)
人間ドック	296	267	29	10.9
特定健診	486	502	-16	-3.2
企業健診	62	60	2	3.3
大腸がん検診	2	6	-4	-66.7
子宮がん検診	80	119	-39	-32.8
保健指導	13	12	1	8.3
計	939	966	-27	-2.8

20. 血液培養2セット実施率
集計中

21. 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率
集計中

II 病院指標

病院指標は「診療実績や病院の特徴、機能公開」を表す指標です。厚労省が定める全国共通のルールに基づき、各病院の診療実績や機能、特徴を公開し、患者様が病院を選びやすくすることを目的とします。

集計期間：2025/4/1~2026/3/31

1.年齢階級別退院患者数

	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～	計
患者数	0	2	2	5	8	12	61	168	312	210	780
構成比%	0.0	0.3	0.3	0.6	1.0	1.5	7.8	21.5	40.0	26.9	100.0

2.診断群分類・主傷病別患者数（患者数上位5位）

(1)病院全体

診断群分類	病棟				構成比 (%)
	3A	4A	4B	計	
新生物<腫瘍>	1	65	143	209	26.2
呼吸器系の疾患	1	121		122	15.3
損傷,中毒及び他の外因	1	74	1	76	9.5
消化器系の疾患		68	1	69	8.6
循環器系の疾患	3	56	1	60	7.5

67.1

主傷病	病棟				構成比 (%)
	3A	4A	4B	計	
肺炎	1	50		51	6.4
うっ血性心不全	1	29		30	3.8
誤嚥性肺炎		27		27	3.4
尿路感染症		27		27	3.4
老衰	5	21		26	3.3

20.2

(2)4A病棟／一般急性期・地域包括ケア病棟

診断群分類	患者数	構成比(%)
呼吸器系の疾患	121	19.4
損傷,中毒およびその他の外因の影響	74	11.9
消化器系の疾患	68	10.9
新生物<腫瘍>	65	10.4
循環器系の疾患	56	9.0

61.6

主傷病	患者数	構成比(%)
肺炎	50	8.0
うっ血性心不全	29	4.7
誤嚥性肺炎	27	4.3
尿路感染症	27	4.3
老衰	21	3.4

24.7

(3)4B病棟／緩和ケア

診断群分類	患者数	構成比(%)
新生物<腫瘍>	143	96.6
血液および造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1	0.7
循環器系の疾患	1	0.7
消化器系の疾患	1	0.7
尿路性器系の疾患	1	0.7

99.3

主傷病	患者数	構成比(%)
肺癌	14	9.5
胃癌	9	6.1
S状結腸癌	9	6.1
前立腺癌	8	5.4
上行結腸癌	5	3.4

30.4

(4)3A病棟／介護医療院

診断群分類	患者数	構成比(%)
神経系の疾患	11	39.3
症状,徴候及び異常臨床・検査所見で他に未分類	6	21.4
循環器系の疾患	3	10.7
尿路性器系の疾患	2	7.1
特殊目的用コード	3	7.1

85.7

主傷病	患者数	構成比(%)
アルツハイマー型老年認知症	10	35.7
老衰	5	17.9
新型コロナウイルス感染症	2	7.1
非結核性抗酸菌症	1	3.6
直腸癌	1	3.6

67.9

3-1.成人市中肺炎患者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
市中肺炎	8	8	4	4	7	8	9	8	7	8	9	6	86	7.2

3-2.成人市中肺炎の重症度別患者数

重症度	患者数	構成比	平均年齢
軽症	6	7.0	54
中等症	64	74.4	86
重症	15	17.4	85
超重症	1	1.2	100
計	86	100.0	-

【参照】重症度分類（A-DROPスコアを用いて集計）

項目	個数
A-年齢：男性70歳以上、女性75歳以上	1
D-脱水：BUN21mg/dl以上または脱水あり	1
R-呼吸：SPO2 90%以下	1
O-意識：意識障害あり（肺炎による）	1
P-血圧：（収縮期）90mmHg以下	1

軽症：上記5つの項目のうち該当する項目が無い場合

中等度：該当する項目が1個から2個ある場合

重症：該当する項目が3個ある場合

超重症：該当する項目が4個から5個ある場合、またはショックがある場合

4.脳梗塞の患者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
脳梗塞	0	1	1	0	1	1	1	0	2	3	2	1	13	1.1
脳梗塞後遺症	7	10	5	3	14	11	7	4	6	3	7	6	83	6.9

Ⅲ 感染管理

院内の感染管理に関する管理指標です。

集計期間：2025/4/1~2026/3/31

1.感染性尿路感染症発生率

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
外来	A.尿路感染者数	7	4	7	5	4	5	7	5	5	7	6	7	69	5.8
	B.カテーテル留置者数	21	24	28	27	25	24	29	25	22	23	20	19	287	23.9
	C.感染割合=A÷B(%)	33.3	16.7	25.0	18.5	16.0	20.8	24.1	20.0	22.7	30.4	30.0	36.8	24.0	24.0
入院	A.尿路感染者数	5	12	3	8	6	0	5	5	6	14	8	9	81	6.8
	B.カテーテル留置者数	14	26	17	15	13	6	12	17	14	25	16	21	196	16.3
	C.感染割合=A÷B(%)	35.7	46.2	17.6	53.3	46.2	0.0	41.7	29.4	42.9	56.0	50.0	42.9	41.3	41.3
計	A.尿路感染者数	12	16	10	13	10	5	12	10	11	21	14	16	150	12.5
	B.カテーテル留置者数	35	50	45	42	38	30	41	42	36	48	36	40	483	40.3
	C.感染割合=A÷B(%)	34.3	32.0	22.2	31.0	26.3	16.7	29.3	23.8	30.6	43.8	38.9	40.0	31.1	31.1

2-1.カルパネム・ニューキノロン・抗MRSA薬使用時の血液培養実施率

2-2.カルパネム・ニューキノロン・抗MRSA薬使用までの培養検査実施率

※集計中

3.血液培養複数Set率 / 血液培養検査における同日2セット以上の実施割合 ①②より算定

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
A.(提出Set数) -(1Setのみの提出Set数)	14	18	26	32	20	20	26	10	24	12	12	26	240	20.0
B.提出Set数	17	19	27	33	22	22	27	10	26	13	13	28	257	21.4
C.血液培養複数Set率=A÷B(%)	82.4	94.7	96.3	97.0	90.9	90.9	96.3	100.0	92.3	92.3	92.3	92.9	93.4	93.4

①血液培養提出率

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
A.血液培養提出Set数	17	19	27	33	22	22	27	10	26	13	13	28	257	21.4
B.在院患者延数	1,439	1,603	1,572	1,820	1,641	1,649	1,702	1,619	1,827	2,055	1,841	2,060	20,828	1,736
C.提出率=A÷B(%)	11.8	11.9	17.2	18.1	13.4	13.3	15.9	6.2	14.2	6.3	7.1	13.6	12.3	12.3

②血液培養陽性Set率

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
A.陽性Set数	2	0	2	7	2	0	2	0	1	2	0	5	23	1.9
B.提出Set数	17	19	27	33	22	22	27	10	26	13	13	28	257	21.4
C.陽性Set率=A÷B(%)	11.8	0.0	7.4	21.2	9.1	0.0	7.4	0.0	3.8	15.4	0.0	17.9	8.9	8.9

4.抗MRSA薬投与に対する薬物血中濃度測定割合

A. 抗MRSA薬投与件数	TEIC	8
	VCM	2
	計	10
B.薬物血中濃度測定件数		1
C.抗MRSA薬投与に対する 薬物血中濃度測定割合=B÷A(%)		10.0

IV リハビリテーション

リハビリテーション実施に関する管理指標です。

集計期間： 2025/4/1～2026/3/31

集計対象者数： 194人

1.FIM実績指数

A. 各患者の（退院時の FIM 運動項目の得点－入院時の FIM 運動項目の得点）の総和	1,416
B. 各患者の（入院から退院までの日数÷状態に応じた回復期リハビリテーションの算定上限日数）の総和	78.88
C. FIM実績指数=A÷B(%)	17.95

2.集計対象者の各項目の1人当たり平均値

区分	項目	平均値
在院日数	① 在院日数	38.27 日
	② 入院上限日数	95.26 日
	③=①÷② 在院期間率	40.17 %
FIM	④ 入院時FIM	31.85 点
	⑤ 退院時FIM	39.14 点
	⑥=⑤-④ FIMのUP値	7.30 点
	⑦=⑥÷④ UP率	22.92 %
実績指数	⑦=⑥÷③ 実績指数	18.17

3.集計対象者のリハビリ対象疾患 上位5位

順位	DPC診断群分類	件数	構成比	
1	07:筋骨格系	49	25.3%	73.7%
2	04:呼吸器系	41	21.1%	
3	06:消化器系	21	10.8%	
4	11:腎・尿路系	17	8.8%	
5	10:内分泌系	15	7.7%	
-	その他	51	26.3%	26.3%
計		194	100.0%	100.0%

FIM とは？

FIM とは、「機能的自立度評価法」（Functional Independence Measure）の略語です。

食えること、歩くこと、着替えること、トイレに行くことなどの日常生活動作の介助量を計測します。

様々なADL評価法の中でも最も信頼性と妥当性があるといわれています。

ADL とは？

ADL とは、「日常生活動作」（Activities of Daily Living）の略語です。

食事・排泄・入浴 などの日常生活を送るうえで必要な動作のことを指しています。

ADL には「基本的日常生活動作（以下BADL）」と「手段的日常生活動作（以下IADL）」の 2 種類があります。

「BADL」は、ADL そのものを指すことが多く、例えると「起き上がる」、「立ち上がる」などの独立した動作を指します。

「IADL」は、複数の項目を組み合わせた一連の動作を指します。例えると「食事」においては BADL では食える動作そのものを指しますが、IADL では「献立を考える」、「料理を作る」、「盛り付ける」、「食べる」、「洗い物をする」など複雑な動作を指します。

FIM 実績指数とは？

実績指数は、リハビリテーションによってどの程度ADLが改善したか、効果をはかる 1 つの指標です。

FIM の「運動項目」の点数で、退院時と入院時を比較し、どれだけ改善したかを評価します。

また、要したリハビリテーションの期間に対して、疾患ごとに定められた入院期間との比率も実績指数には加味されます。

より短い期間で、よりADLを大きく改善させるほど、実績指数UPし、向上の目安となります。

$$\text{実績指数} = \frac{\text{各患者の（退院時の FIM 運動項目の得点－入院時の FIM 運動項目の得点）の総和}}{\text{各患者の（入院から退院までの日数÷状態に応じた回復期リハビリテーションの算定上限日数）の総和}}$$

FIM で ADL を採点する

FIM の採点は「運動項目（13 項目）」と「認知項目（5 項目）」の 18 項目をそれぞれ 7 段階の評価で 行います。

満点が 126 点、最低点が 18 点です。

点数が高いほど日常生活の自立度が高く、点数が低いほど多くの介助が必要となります。

FIM は「可能なADL」をそれぞれ介助量で点数化されている為、変化が確認しやすいという利点があります。また、リハビリ実施後の予測や急激な病状の悪化に伴うADLの評価にも活用される ことがあります。

FIM(機能的自立度評価法) によるADL評価

※ ADL=Activities of Daily Living
FIM=Functional Independence Measure

- 「運動ADL」13項目と「認知ADL」5項目の全18項目で構成
- 各項目1点～7点の7段階評価。
合計18点～126点
- 点数が高いほど日常生活の自立度が高く、
点数が低いほど多くの介助が必要

各項目の評点		
自立	7点	完全自立
	6点	修正自立
部分介助	5点	監視
介助あり	4点	最小介助
	3点	中等度介助
完全介助	2点	最大介助
	1点	全介助

運動ADL(13)	セルフケア	(1)食事	計6～42点
		(2)整容	
		(3)清拭	
		(4)更衣上半身	
		(5)更衣下半身	
		(6)トイレ動作	
	排泄コントロール	(7)排尿管理	計2～14点
		(8)排便管理	
	移乗	(9)ベッド・椅子・車椅子移乗	計3～21点
		(10)トイレ移乗	
		(11)浴槽・シャワー移乗	
	移動	(12)歩行・車椅子	計2～14点
		(13)階段	
認知ADL(5)	コミュニケーション	(14)理解	計2～14点
		(15)表出	
	社会的認知	(16)社会的交流	計3～21点
		(17)問題解決	
		(18)記憶	
	全18項目 合計 18～126点		